

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 広告を裏読みする
- 42 新・不養生のすすめ―大西睦子
- 51 西風

社会・文化



激務をこなした平成の天皇・皇后が退位され、後を託された数少ない皇族には過重な負担が押し掛かる。新皇后には「体調の波」もある。伝統の変更を許さぬ保守派が、新時代の皇室に多事多難をもたらす。(110頁)

- 98 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 **「皇宮警察」の警備・護衛は「穴だらけ」**
- 新時代の皇族を守るのか
- 104 幻の「馬毛島」オーナー家の相克―防衛省「失策」で買収はまた頓挫
- 106 NHK「次期会長争い」の醜い混戦―首相官邸「権力抗争」がもたらす影響
- 108 **大恥の日本「WTO」逆転敗訴**
- 国際潮流を解さぬ政権の「外交音痴」
- 110 **皇室「漂流時代」への覚悟**
- 日本のサンクチュアリ ● シリーズ536 X「皇室の風」拡大版―岩井克己
- 新天皇・皇后を待つ
- 過酷な現実

- 59 交差点―読者の声・編集者の声
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 美の艶話―齊藤貴子
- 94 本に遇う―河谷史夫
- 96 をんな千一夜―石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

連載「皇室の風」は日本のサンクチュアリに拡大版として掲載します。

経済

- 60 製造業「不正の連鎖」をどう止めるか―見識なき経営者が増えすぎた
- 62 中部電力を蝕む「JERA」の罟―東電と経産省が「株式上場」で策謀
- 64 **JXTGを腐らす「杉森総帥」の慢心**
- 情実人事と独裁長期化の憂鬱
- 67 連載「クローズアップ」永松文彦 センシイレブン新社長―加盟店「残酷物語」を続ける魂胆
- 68 韓国経済の悪夢「年金公団崩壊」―絶望が覆う超高齢者国家
- 70 猛威をふるう「旧村上ファンド」―証券監視委も恐れぬ「濡れ手で票」
- 72 **二大商社の博打「北極圏」LNG案件**
- 巨額国費も吸い込む「ロシアの泥沼」
- 74 経済 ● 情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」西武信用金庫―業績拡大の裏で「暴力団」とべつたり
- 80 医療「IT」エムスリー「ぼろ儲けの裏側」―医師困り込みビジネスで続く急伸
- 82 **野村證券は「銀行傘下入り」の運命**
- 顧客無視「無法営業」にも限界
- 84 インドで嫌われる「孫正義」―「起業家泣かせ」金満ファンドの驕慢
- 86 連載「企業研究」**リクルート**
- 就活戦線「異状あり」でも荒稼ぎ

若年人口の減少や「通年採用」など就職活動の環境変化も何のその。人手不足を逆手に利益を伸長させたたかさ。平成の大事件を起こした創業者・江副浩正のDNAで、令和の世でも稼ぎまくる。(86頁)



政治



安倍政権が3期で終わるとして、残された衆院解散の機会はやはり年内。口実が増税延期なら、夏の衆参同日に加えて、10月以降の秋も狙い目となる。財政や政策より政権維持、解散権の私物化だ。(48頁)

- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 **新天皇と安倍の「微妙な関係」**
- 皇室の「反長州意識」は根深い
- 48 **令和元年解散は夏か秋か**
- 消費増税「再々延期」で政権内の暗闘
- 52 連載「政界スキャンダル」菅義偉は「首相の器」にあらず
- 54 最低賃金「全国一律」を阻む官邸官僚―地方創生は名ばかりの安倍政権
- 56 **公明党「年内解散容認」の裏事情**
- 創価学会「権力構造」に地殻変動
- 58 連載「罪深きはこの官僚」山上信吾「外務省経済局長」―WTO逆転敗訴「国辱」の咎人

WORLD

- 3 連載「巻頭インタビュー」ケネス・ルオフ―多様性の時代が求める「新天皇像」
- 6 **米中の狭間の「日本の針路」**
- 戦争なき「令和」をどう実現するか
- 12 トランプが組み替える「新同盟網」―日本が筆頭「従順な属国」を選抜
- 14 温暖化防止「北欧十六歳少女」の挑戦―学生百四十万人「金曜日デモ」の賛否
- 16 アラブの春「第二幕」は広がるか―相次ぐ北アフリカ「政変劇」の今後
- 18 **WORLD ● 情報カプセル**
- 22 米露がベネズエラで「サイバー暗闘」―反米政権を巡るハイテク攻防戦
- 24 **大聖堂再建で団結できないフランス**
- 巨額寄付金が炙り出す「格差と分断」
- 28 ギリシャと米国「軍事的蜜月」の波紋―東地中海「覇権争い」に新展開
- 30 **北朝鮮「体制転覆」に傾斜する米国**
- 飼い犬「自由朝鮮」が狙うクーデター
- 32 **郭台銘は台湾総統になれるのか**
- 中国共産党「代理人」の不透明な勝算
- 34 中国「危険鎮痛剤」輸出に悩む米国―現代版「アヘン戦争」死者「万人の恐怖」
- 36 **習近平が憂う「天安門三十周年」の亡霊**
- 米国は「和平演変」を諦めない
- 38 連載「現代史の言霊」五月の登頂―サッチャー首相誕生(一九七九年)

米中両国の「ご機嫌取り」が安倍外交の唯一の戦略。同盟のコストを日本に求めるトランプの怒りに触れぬよう、中国との距離を縮める綱渡りだ。米中関係が一層悪化すれば、日本は「股裂き」の窮地に陥る。(6頁)

